

栄養やまなし No. 82

社団法人 山梨県栄養士会 〒400-0031 甲府市丸の内一丁目10-5 ☎055-222-8593 平成18年8月

行事予定

- 生涯学習研修会
平成18年8月6日(日)
平成18年10月14日(土)
平成18年12月2日(土)
- 植物油講演会
平成18年11月25日(土)
- いきいき山梨ねりんピック2006
平成18年9月9日(土)
- 健やか山梨21推進大会
平成18年11月18日(土)
- 「学ぶじゃん」山梨版「食事バランスガイド」推進大会
平成18年12月17日(日)
- 第16回栄養士研究発表会
平成19年1月14日(日)
- 指導者のための健康栄養セミナー
平成19年1月14日(日)
- 生活習慣病予防啓発事業
平成19年2月1日(木)～2月7日(水)



暑中お見舞い
申し上げます

目次

会長就任の挨拶	2	トピックス	
副会長就任の挨拶	2	「学ぶじゃん」山梨版「食事バランスガイド」事業	13
案 内		情報の広場	
いきいき山梨ねりんピック2006年開催	3	日本栄養士第48回通常総会開催される	14
研究発表会・指導者のための健康栄養セミナー	3	全国栄養士大会開催される	14
植物油講習会	3	「全国食生活改善大会」の開催	14
平成18年度		平成18年度生涯学習研修会はじまる	14
第22回管理栄養士国家試験受験準備研修会	3	平成17年度生涯学習研修会アンケート結果	15
ニュース		独立行政法人国立健康・栄養研究所研究報告会に参加して	16
平成18年度(第22回)通常総会報告	4	新刊書籍案内	16
日本栄養士連盟山梨県支部総会報告	5	私達がんばっています!	17～18
総会時特別講習会	5	平成18年度入会会員名簿	19
総会時における賛助会員商品展示会	6	平成18年度職域別会員内訳	20
総会時アンケート集計結果	7	退会者の内訳	20
平成18・19年度		理事会 会務報告	20
栄養士会役員・連盟役員・各種委員会委員・代議員	8	賛助会員名簿	21～22
新役員の抱負・継続役員の抱負(職域・支部)	9～11	事務局からのお知らせ	22
管理栄養士合格者について	12		

会長就任の挨拶

会長 石坂 恵子

私は先の総会において、会長に選任されましたが、何分にも浅学非才の身であります。この大役を全うするには理事・会員・事務局の皆様方のご指導をいただきながら会の充実、発展に取り組みたくよろしくお願いいたします。

さて昨年10月の介護保険制度の改正、今年4月の食事療養制度の改正等があり、私たちの業務の成果が今後の管理栄養士・栄養士という職能を左右するとまでいわれており管理栄養士、栄養士に対する社会のニーズの変容と捕らえる必要があると考えられます。しかし私どもはそれらを現実のものとして捉え理解していない一部の方もおられるのが現状ではないでしょうか？

社会から託された課題に対し、全員一人ひとりが自覚をもって解決していくことが重要であります。また、会員益・会益・公益をどのように産出していくかが組織としてのもう1つの課題であると思います。

予想もつかないスピードの変化に対応して追いつくのでなく時代を先取りして自分たちに有利な風を吹かすことも重要だと思います。

これまでと同様、ご支援・ご協力をお願いいたします。

副会長に就任して

副会長 岡本 裕子

私が始めて副会長になってから、あっという間に2年の月日がたちました。

今振り返っても、何もわからずただ夢中で過ぎたように思います。

今回、再任ということになり「過去2年間の経験が生かせるだろうか？」といった不安がありましたが、今は山梨県栄養士会のために微力を尽くしたいと考えを新たにしています。

栄養士を取り巻く状況は、介護保険関連施設による栄養ケア・マネジメントの導入、入院時食事療養費の算定基準の改正、栄養教諭制度の施行等大きな変革をしています。

栄養士にとって厳しい状況に変わりはありませんが、反面、医療費の高騰、健康や食の安全・安心に対する国民の意識の高まりは、職場における栄養士の必要性和職域の広がりにつながっています。

今こそ、多くの人々から期待される専門職として、自己研鑽に共に努め、栄養士の地位を、確立・強化しましょう。

「食事バランスガイド」の普及、啓発を

副会長 矢崎 圭子
(峡東支部長併任)

この度、平成18年度の総会において、副会長という大役に承認され、再任ということになりました。

まず、経過しました2年間の任期中に対して、会長はじめ役員の皆様、そして、会員の皆様のお力添えや、ご指導、ご協力をいただきながら、無事任務を終えることが出来たことに感謝申し上げます。

そして、これからの2年間、微力ではありますが、今までの経験を生かしながら、精一杯会の発展に努力していく所存です。ので、ぜひ皆様のご助言をよろしくお願いします。

生涯学習研修会を始めとして、今年度の大きな事業として、食育基本法に基づいた「食育活動促進支援事業」であります。山梨版「食事バランスガイド」の普及啓発を通して家庭、地域における推進や食文化の継承に努めることを目的にしたものです。

この事業を成功させるためには、役員をはじめとして会員一人一人のご理解とご協力が無くてはなりません。よろしくお願いします。

又、管理栄養士、栄養士をとりまく社会情勢が急速に変化する中、自己意識の改革も必要となって来ます。

そして、より高度な専門知識や、指導能力を求められる中、新しい知識の学習の為、生涯学習研修会や、各職域、支部での研修会に参加して、たえず自己の研鑽に努めましょう。

案内

1、いきいき山梨ねりんピック2006年開催

日時 平成18年9月9日(土) 午前9時より(雨天の場合は10日(日)に順延となります。)

会場 小瀬スポーツ公園

内容 国保いきいき広場でメタボリックシンドロームを中心とした栄養相談及び福祉・保健情報コーナーにおいて栄養士会として「食育」推進関連のコーナーを設置します。

2、栄養士研究発表会

日時 平成19年1月14日(日)

会場 山梨学院短期大学

内容 研究発表 各職域部会より 7題

5、平成18年度 第22回管理栄養士国家試験受験準備研修会

日程：平成18年6月～平成19年2月(詳細は下表参照)

会場：山梨学院短期大学 51号館205教室

受付時間： 午前9：30～

午後1：00～

月日(曜日)	午 前	午 後
	科 目	科 目
6月17日(土)	10：00～12：30 受験準備研修会の趣旨 管理栄養士国家試験の概要 合格者体験談	1：30～4：00 食べ物と健康① (食品の安全、衛生管理)
7月15日(土)	10：00～12：30 応用栄養学 食べ物と健康(健康管理概論)②	1：30～4：00 給食経営管理論
9月16日(土)	10：00～12：30 基礎栄養学	1：30～4：00 社会・環境と健康
10月21日(土)	10：00～12：30 公衆栄養学	1：30～3：00 食べ物と健康(食品成分)③ 3：10～4：20 疾病の成り立ち①
11月25日(土)	10：00～12：30 人体の構造と機能① (生化学)	1：30～4：00 栄養教育論
12月16日(土)	10：00～12：30 臨床栄養学①	1：30～4：00 人体の構造と機能②(生化学)
1月13日(土)	10：00～12：30 臨床栄養学②	1：30～3：00 食べ物と健康④ (食品成分表・成分変化・物性・官能検査) 3：10～4：20 疾病の成り立ち②
2月17日(土)	10：00～12：30 食べ物と健康⑤ (食品の生育・生産・加工)	1：30～4：00 人体の構造と機能③ (生化学)

◎ 受講料(全8回分)：8,000円

*納入金の返金及び欠席等による資料の送付は行いません。あらかじめご了承ください。

◎ 持ち物：

・昼食(近隣にコンビニエンスストアなどありますが、学内の食堂は利用できません)

(飲み物：1本/受講者1人当り/各回毎を用意いたしますのでご利用下さい。)

・例年サブテキストを使用しておりますが、ガイドラインが変更されたことなどから本年度は出版が遅れています。詳細につきましては次回時にご案内いたします。

◎ 申込方法：振込み依頼人の氏名を明記の上、受講料8,000円を下記口座までご送金下さい。

振込先：りそな銀行甲府支店 当座預金 口座番号 427632 口座名義 学校法人 山梨学院

また、封書に【振込み確認ができる書類】(振込金受取書またはATM振込受領書)と【郵便番号・住所・氏名・電話番号】を明記した用紙を同封の上、

〒400-8575 甲府市酒折2-4-5 山梨学院短期大学 食物栄養科

【平成18年度管理栄養士国家試験受験準備研修会参加希望】宛までお申し込み下さい。

講義は第2回まで終了しておりますが、申し込みは随時受け付けております。

◎ 問合せ先：山梨学院短期大学 食物栄養科 TEL 055-224-1400(代表)

担当：山口 TEL 055-224-1646 E-mail k-yamaguchi@ygu.ac.jp

3、指導者のための健康栄養セミナー

日時 平成19年1月14日(日)

会場 山梨学院短期大学

内容 指導者のための健康栄養セミナー

演題 「メタボリックシンドロームの栄養管理」

講師 中村 丁次

4、植物油講習会

日時 平成18年11月25日(土)

会場 ぴゅあ総合

内容 演題 「食用油脂の基礎知識」

講師 五十嵐 脩

演題 「油脂栄養の現状と問題点」

講師 菅野 道廣

社団法人山梨県栄養士会 第22回（平成18年度）通常総会報告

（社）山梨県栄養士会並びに栄養士連盟山梨県支部の通常総会が平成18年5月25日（木）、ぴゅあ総合（県立男女共同参画推進センター）の会場で開催された。会員の現在数453人のうち出席会員数340人（委任状を含む）であった。来賓に福祉保健部、中澤正史部長、健康増進課、内田玄祥課長、藤巻一雄名誉会長を迎え、司会岡本裕子で矢崎圭子副会長の開会宣言により開会した。

会長のあいさつで管理栄養士・栄養士の社会が求める重要性について、日々の研鑽、最新の栄養情報を得るためのアンテナを常に高くたてて、勉強していかなければならないとの激励のあいさつがあった。来賓の福祉保健部長からは祝辞をいただき、祝電を日本栄養士会会長・山梨県医師会会長・山梨県調理師会長よりいただいた。

その後「山梨県民栄養調査の概要と栄養士の役割」と題して、健康増進課の内田玄祥課長より特別講演があった。14時30分より栄養士総会が出席者が定数を満たし有効に成立する旨を告げ、議長選出方法を諮り、執行部一任の声のもと地域活動部会福永千賀代会員、集団健康管理部会大柴由紀会員を満場一致で選任する。議長あいさつの後、議事録署名人として、行政部会沓川洋子会員地域活動部会立川聖子会員を選任、議事録書記として、病院部会山本貴子会員、福祉部会小泉京子会員を指名し議案の審議に入った。

議事の経過の要領および議案別議決の結果

第1号議案 平成17年度事業報告及び収入支出計算書並びに財産目録など承認の件

矢崎圭子副会長が総会資料より、事業報告 遊佐 渚事務局長より収入・支出計算書並びに財産目録について報告し、ついで税理士の大森光子監事より監事を代表して事業及び収入支出について監査の結果、適正であると報告された。議長は議案について出席者から質問を求めた。発言書の提出があり、研修会・講演会の通知を早く連絡してほしいとの意見に、「栄養やまなし」、ホームページなどでお知らせしているが、今後も前向きに対処する旨の回答が執行部よりあった。その他に質問がなく、採決を一同に諮ったところ出席者全員の賛成で承認された。



挨拶：石坂恵子会長

いとの意見に、「栄養やまなし」、ホームページなどでお知らせしているが、今後も前向きに対処する旨の回答が執行部よりあった。その他に質問がなく、採決を一同に諮ったところ出席者全員の賛成で承認された。

第2号議案 （社）山梨県栄養士会定款の一部変更の件

石坂恵子会長より定款第3章の役員の種別および選任の第11条、監事及び正会員の理事以外の理事を選任する件について、会の円滑な運営・透明性・健全性をはかる必要から山梨県私学文書課より指導があったとの変更理由の説明があった。議長が採決を一同に諮ったところ、出席者全員の賛成で変更は承認された。

第3号議案 平成18・19年度役員改選の件

石坂恵子会長より提案説明があり、議長は議案について出席者から質問をもとめたところ、質問がなく、採決を一同に諮ったところ後記就任理事名簿のとおり出席者全員の賛成で承認された。なお会長、副会長は理事会の互選により、会長石坂恵子・副会長岡本裕子・副会長矢崎圭子と決定した。なお被選者は就任を承諾した。

第4号議案 平成18年度事業計画及び収入・支出予算案承認の件

矢崎圭子副会長が事業計画案を提案説明し、遊佐渚事務局長が収入・支出予算案を提案説明した。議長は議案について出席者から質問をもとめたところ、質問がなく採決を一同に諮ったところ出席者全員の賛成で承認された。総務部長より最後に本会のホームページの活用をすすめた。

以上をもって、第22回（平成18年度）通常総会の全ての審議を終了したので、議長は閉会を宣言し、午後3時50分に終了した。



議長 団



祝辞：中澤正史福祉保健部長

就任理事名簿

職域部会選出理事

秋山 知子	沓川 洋子	根津美智子
秋山めぐみ	大木 由枝	小淵 正子
齋藤 正治	石坂 恵子	岡本 裕子
・田草川憲男	阿佐美 薫	平井美樹夫
斉藤 由香		

正会員以外の理事

三井 三男 野口富美子

支部選出理事

杉村千代子	嶋津よし子	矢崎 圭子
澤村 和子	深澤 幸子	

日本栄養士連盟山梨県支部 平成18年度総会報告

定刻になり司会者老沼喜久江副支部長、矢崎圭子副支部長が開会宣言し、平成18年度通常総会は、定数を満たし有効に成立した旨を告げ、議長選出方法を諮り、地域活動部会福永千賀代会員、集団健康管理部会大柴由紀会員を満場一致で選任する。議長あいさつの後、議事録署名人として地域活動部会立川聖子会員、議事録書記として、福祉部会小泉京子会員、病院部会山本貴子会員を選任し議案の審議に入る。

第1号議案 平成17年度事業報告及び収入・支出計算書並びに財産目録承認の件

森田園子支部長が事業を総括して報告、遊佐渚幹事長が収入・支出計算書ならびに財産目録について報告し、次いで石坂恵子監事より監査の結果、実施業務及び会計収支は適正であると報告があった。議長は議案について出席者から質問を求めたところ、質問なく、採決を一同に諮ったところ出席者多数の賛成で承認された。

第2号議案 平成18・19年度役員改選の件

森田園子支部長より提案説明を議長は議案について出席者から質問を求めたところ、質問がなく採決を一同に諮ったところ出席者多数の賛成で承認された。なお被選者は就任を承諾した。

第3号議案 平成18年度事業計画案及び収入・支出予算案承認の件

森田園子支部長が事業計画案を提案説明し、遊佐渚幹事長が収入・支出予算案を提案説明した。議長は議案について出席者から質問を求めたところ、質問がなく採決を一同に諮ったところ出席者多数の賛成で承認された。

以上をもって平成18年度総会の全ての審議を終了したので、議長は閉会を宣言し終了した。

（文責：遊佐 渚）

総会特別講演

「山梨県民栄養調査の概要と栄養士の役割」

講師 山梨県福祉保健部健康増進課
課長 内田 玄 祥

保健・医療は、病気の状態を健康な状態とするための介入（治療）を行うこと。

保健医療福祉の概念として、一時予防＝保健、二次予防＝医療、三次予防＝福祉であり、保健の部分を担うのが栄養士の役割である。福祉の部分はお金がかかり、お金をかけた方が目に見える。保健の部分は、あまり目に見えない部分だが非常に大事な部分。

食事と健康は密接な関係があり、長所と短所があることを理解する必要がある。摂りすぎ、摂らなさすぎが問題。

平成16年県民栄養調査の結果を、5保健所ごとに比較し、分析した結果は、次のとおり

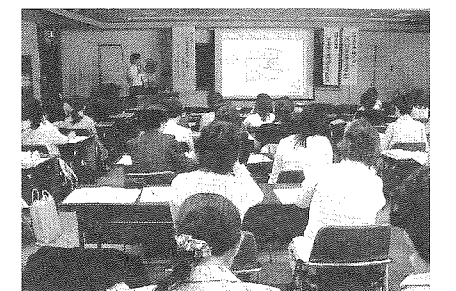
山梨県民の栄養摂取の傾向

- ・40歳代以下では、エネルギー摂取は少なめ、50歳代以上では多め。
- ・全国平均に比べ、動物性の脂質摂取量が少ない。
- ・全国平均に比べ、K・ビタミンA（レチノール）、ビタミンCの摂取量が多い。
- ・Ca（特に峡中、富士東部）、鉄（峡中、 峡東）の摂取不足が顕著。
- ・食塩の摂取量が多め。
- ・峡中・峡東はパン、峡北は米と麺、富士 東部は麺（特に峡北・富士東部の男性は 麺が峡南の男性の2倍）
- ・峡北は野菜、峡南は魚、他は肉。

（文責：沓川 洋子）



内田玄祥健康増進課長



平成18年度総会時賛助会員商品展示会

展示商社一覧

順不同

会 社 名	担 当 者	連絡先電話	展 示 商 品
信濃化学工業株式会社	山 田 芳 嗣	026-243-1115	食器・トレイ等
長谷川化学工業株式会社	泰 戸 真一郎	047-482-1001	まな板・包丁等
株式会社三和化学研究所	加 藤 文 雄	0263-36-1771	サンエットA・L等
株式会社 クリニコ	矢 崎 浩 子	042-590-1506	病態栄養食品等
三 信 化 工 株 式 会 社	宇 梶 純 平	03-5405-7688	メラミン・ポリプロ食器
三 島 食 品 株 式 会 社	鈴 木 健	03-3317-1212	レトルト食品、ふりかけ等
大 塚 薬 品 株 式 会 社	橋 詰 速 水	055-276-8581	ポカリスエットイオンウォーター
株式会社東洋システムサイエンス	里 山 寿実枝	045-451-3191	業務用パッケージソフト
大 陽 食 品 株 式 会 社	新 津 齋	055-224-5415	老人医療用食材等
株式会社 岩 崎	黒 川 信 夫	03-3732-3177	栄養関係フードモデル等
東京サラヤ（株）八王子営業所	伊 藤 毅	0426-60-0521	食品衛生材料、栄養食品
株式会社 オ オ キ	芦 澤 秀 雄	055-273-6644	食品・環境衛生管理材料
明 治 乳 業 株 式 会 社	興 石 有希子	055-273-7071	栄養食品、乳製品等
株式会社 丸 泉 漆 器 店	大久保 和 子	03-3704-4831	病院・施設用食器



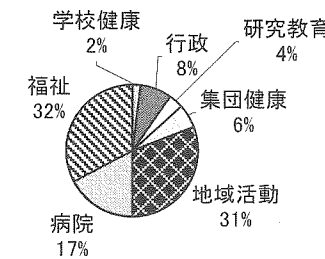
展示会場



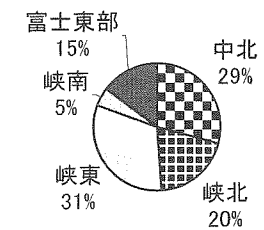
知事表彰受賞者：望月かほる、大木由枝
厚生労働大臣表彰受賞者：河南洋子

総会時のアンケートより

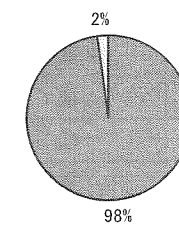
参加者の内訳(職域部会別) n=54



参加者の内訳(保健所単位支部別) n=54

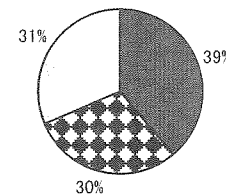


「栄養やまなし」の掲載内容 n=54



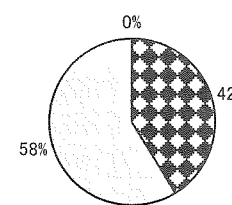
■現状でよい □掲載希望有り

インターネットの利用 n=54



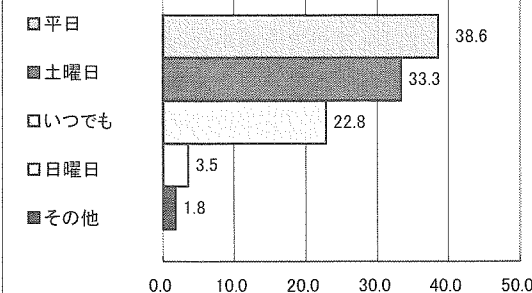
■日常よく利用 □時々利用 □利用しない

県栄養士会ホームページの利用

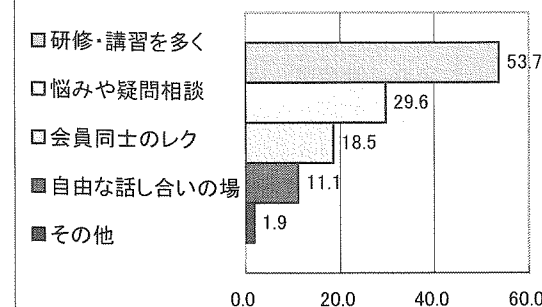


□日常よく利用 □時々利用 □利用しない

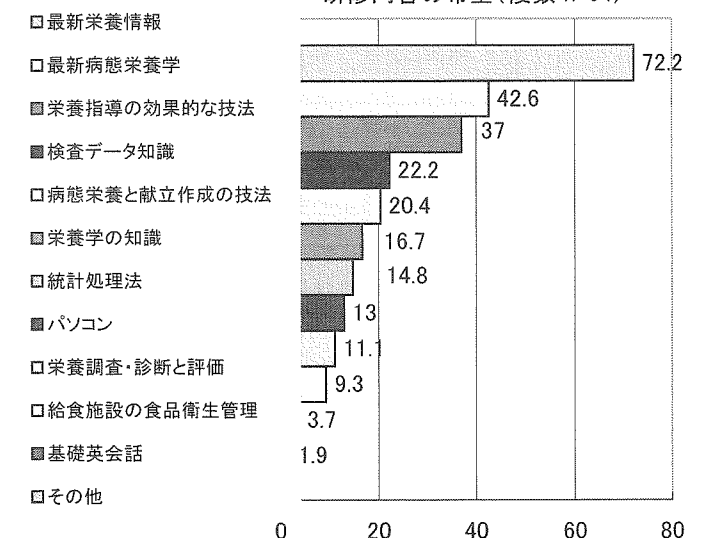
参加しやすい曜日 (54人中、複数回答者3名有り)



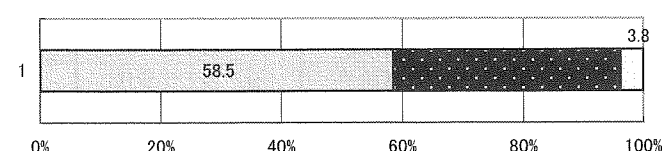
栄養士会に望むこと(複数 n=54)



研修内容の希望(複数 n=54)



「栄養やまなし」の購読状況 n=54



複数回答のグラフは、アンケート提出者(54人)に対する割合

(文責：田草川 憲男)

平成18・19年度役員名簿

顧問・参与

役職名	氏 名	所 属
名誉顧問	山本 栄彦	山梨県知事
顧 問	中澤 正史	山梨県福祉保健部長
顧 問	大久保幹雄	(社)山梨県医師会長
顧 問	宮川 晋爾	(社)山梨県病院協会
顧 問	長田 正五	(社)日本栄養士会名誉会員
名誉会長	藤巻 一雄	(社)日本栄養士会名誉会員
参 与	内田 玄祥	山梨県福祉保健部健康増進課長
参 与	小澤 量子	(社)日本栄養士会名誉会員

役員

	氏 名	支部・職域
会長・代議員(総括)	石坂 恵子	地域活動部会
副会長・代議員(組織部・学術部担当)	岡本 裕子	研究教育部会
副会長・代議員(広報部・事業部担当)	矢崎 圭子	峡東支部
総務部長・予備代議員	田草川憲男	行政部会
総 務 部	阿佐美 薫	病院部会
	大木 由枝	集团健康管理部会長
事 業 部 長	小渕 正子	病院部会長
事 業 部	杉村千代子	中北支部長
	齋藤 正治	福祉部会長
組 織 部 長	澤村 和子	峡南支部長
組 織 部	深澤 幸子	富士・東部支部長
	斉藤 由香	福祉部会
広 報 部 長	杵川 洋子	行政部会長
広 報 部	秋山めぐみ	地域活動部会長
	平井美樹夫	病院部会
学 術 部 長	根津美智子	研究教育部会長
学 術 部	嶋津よし子	峡北支部長
	秋山 知子	学校健康教育部会長
正会員以外の理事	三 井 三 男	山梨県老人保健施設協議会事務局長
	野口富美子	山梨県食生活改善推進員連絡協議会長
監 事	大森 光子	大森・中込税理事務所
監 事	渡辺ひでみ	集团健康管理部会

各種委員会委員

職域名・役職	生涯学習委員	栄養・食生活情報編集委員	ホームページ委員	栄養やまなし編集委員	栄養日本モニター
会 長	石 坂 恵 子	石 坂 恵 子	石 坂 恵 子	石 坂 恵 子	
副 会 長	岡 本 裕 子		岡 本 裕 子		
副 会 長	矢 崎 圭 子	矢 崎 圭 子		矢 崎 圭 子	
総 務 部 長	田草川 憲 男		田草川 憲 男		
総 務 部		阿佐美 薫		大 木 由 枝	
学 術 部 長	根 津 美智子				
学 校 健 康 教 育	秋 山 知 子	秋 山 知 子			
行 政	山 下 眞 澄	天 野 久 美		杵 川 洋 子	渡 辺 公 江
研 究 教 育		樋 口 千 鶴	山 口 国 子		山 口 国 子
集 団 健 康 管 理	宮 下 恵 理	大 柴 由 紀			
地 域 活 動	松 尾 美穂子	福 永 千賀代		秋 山 めぐみ	
病 院	佐 藤 秀 子	深 澤 幸 子	平 井 美樹夫		
福 祉	嶋 津 よし子	風 間 智 恵			

日本栄養改善学会評議委員 鈴 木 道 子 (山梨学院短期大学)
大 木 由 枝 (ホテル デュシュルブルー)

平成18・19年度

新 役 員 の 抱 負

(順不同)

学校における栄養士の活動の更なる飛躍を信じて

学校健康教育部会長 秋 山 知 子
「生きる力」をもつ子供の育成。学校現場でここ数年来とてもよく耳にする言葉です。言い換えれば、困難にあってもくじけず、知恵を働かせながら乗り越えていける子どもに育ってほしいという大人の願いの言葉です。私たち栄養士は、この生きる力の最も直接的な健康な体づくりと、食べるという行為をより良く行うことによる心の健康づくりの、二つの大きな目的に最も近い仕事をしています。今、従来の給食管理にプラスして、食育の推進という新たな役割が期待されています。部員一同協力し、実践に向けて今年も取り組んでいきたいと考えています。

新役員の抱負

行政部会長 杵 川 洋 子
今年度から理事(行政部会)を務めさせていただきます。市町村合併また、保健所組織の再編があり、組織が大きく変わるとともに、介護保険法の改正、食育基本法の施行、医療制度改革の検討など、社会情勢もめまぐるしく変化し、地域の健康づくりを担う行政栄養士は、こうした急激な変化に対応できる、地域の中心的な役割が求められています。そのことを常に念頭に置きながら、私たちはどうしていかなければならないのか考えて仕事をしていきたい思います。みなさま、ご協力よろしくお願いいたします。

新役員の抱負

研究教育部会長 根 津 美智子
平成18年度研究教育部会長をさせていただきます根津です。改正栄養士法の施行に伴い、全国研究教育栄養士協議会として、今年度取り組む課題として臨地・校外学習システム作り調査への見直しが確認されました。また、研究部としましても糖尿病予防、低栄養対策文献研究への対応が昨年度に引き続き確認されました。また、来年度は山梨県も研究教育部会の関東・甲信越・京浜ブロック研修会の当番校の予定です。皆様のご協力をお願いいたします。
食育基本法の施行に伴い各部会とも協力し、国民の健全な心身と豊かな人間性をはぐくむ食育推進のために少しでも活動を展開していけたら幸いです。
山梨県栄養士会の更なる発展のために石坂会長を吹き上げつつ、研究教育部会の会員の皆様に少しでも役立つ仕事ができればと思っています。本当に微力ではございますが、よろしくお願いいたします。

新役員の抱負

地域活動部会長 秋 山 めぐみ
「栄養士会の組織って?」と問うほどの私が理事となり、ここ数か月、頭の中を白紙にして色を入れる作業に、専業主婦の範囲内で仕事をしていた私には考えられない日々を送りました。しかし、同時に、生活習慣病予防、介護予防、食育の推進など地域活動部会が抱える大きな意義も痛感しました。力不足ではありますが諸先輩方のお力を借りながら組織活動に参加させていただき、私なりに努力していこうと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

新役員の抱負

病院部会 阿佐美 薫
本年度、「医療制度改革」という大義の元に診療報酬請求(食事療養費関係)はかつてない大幅な減産となった。私が勤務する(旧)国立大学医学部付属病院では100床当り10,000千円程度の減収となると報告があった。このような医療環境の変化を受け、病院に勤務する栄養士らには、病院幹部からは、栄養実施加算の実施や栄養指導による増収と、また給食運営に係るコスト削減などについて厳しいものが伝えられた事と思う。さて、このような厳しい医療制度改革がこれをもって最終と捉えるか、あるいは序章と捉えるかによって栄養士の在り方は異なってくるであろう。私個人としては、国家財政が緊縮している現状とを重ね併せて考えて見ると、この改革は始めの一步として捉えており、次回、または次々回の診療報酬改訂では食事療養費関係はすべて自費で賄うであろうと予測しており、今からその準備に余念がないところである。
このような状況下のなか理事に就任することになったが、自分になが出来るか、いささか不安もあるが任期中は山梨県栄養士会のために尽力したいと思っている。

「今、思うこと」

福祉部会 斉 藤 由 香
児童養護施設が何たるかも知らず、そこで子どもたちがどんな暮らしをしているかも知れなかった私が、栄養士として働き出して気がつく十数年が経っていました。まわりの子どもを巻き込んで騒いでいる子、何かにいちゃもんつけては拗ね続ける子、不機嫌さをからだいっぱい表している子……。人との関係をどこかで歪められてきてしまった子どもたちにとって、とかく食の場面は心の表現の場になることが多いようです。人間関係で絡まっ

てしまった糸をひとつひとつをときほぐし、紡ぎあわせていく……。毎日の食卓で気の遠くなるような積み重ねが続いています。

栄養士として何をすべきであるのか?何ができるのか?迷い続けての年月です。

今年理事という大役を受けたものの、何ができるのか大変不安であります。自分にできることを何か見つけられたら、さまざまな人との出会いの中で視野を広げられたら・・と思っています。ご指導よろしくお願い致します。

* * * * *

新役員の抱負

病院部会 平 井 美樹夫

栄養管理加算やN S T、栄養教諭、給食の委託化、食育、大きなマスコミの健康情報氾濫など時代の流れは栄養問題になっていますが、栄養士への評価や期待はあまり盛り上がりせず、他職種が食品や栄養について解説したり、新しい食品や栄養の資格ができたりしています。その根本には栄養士のアピール不足があると思われます。

栄養士会で様々な事業の機会をとらえて一般の人にアピールをしています、皆さん自身の回りはどうでしょうか。例えば私の勤めている病院には事務職、医師、看護師等の様々な職種の人たちがいます。N S Tやクリニカルパスなどのつながりを通して以前はあまり顔も合わせなかった人たちと合う機会も増えました。今まで地下でカロリー計算だけしていると思われていた栄養士の仕事内容や忙しさを少しでも理解してもらい、栄養士は病院の治療、サービス、稼ごのために必要なのだと積極的に話しかけていくことが自分たちの立場を作っていくことになると思います。これからも会の活動や個人のつながりの中で、栄養と栄養士の大切さをアピールしていきたいと考えています。

継続役員の抱負

県民のニーズに応えられる栄養士になろう

総務部長 田草川 憲 男

何もわからないで入ったこの職業も、何年かすると慣れてきて、それなりに、業務目標や改善計画を立てて一生懸命業務に励んだつもりでした。

しかし、視野を遠く（県外の仲間）におくと、俺は（山梨では）まだ、こんなことしかやっていないのかと、心から恥ずかしく思いました。それは、若い頃、日本栄養士会の全国行政栄養士協議会に携わり、他県の栄養士が仲間同士で切磋琢磨してがんばっている姿を見て強烈に感じました。

だめじゃん！ まだこんなことしかやってないようじゃあ！ るま湯につかってちゃダメじゃん！「全国には、いい仕事をしている栄養士がいるなあ～」他県に追いつくには、情報をつかもう！ そしてその仕事をまねしようと思った次第です。

今 健康政策に関して国や県が目指している項目の中に

は、「医療費の抑制（医療制度改革）」・「寝たきりをつくらない看護予防事業（介護保険法）」・「健康日本21（健やか山梨21）」があります。

そこで、栄養士がいつも頭に入れて、日常の業務に関連づけておかなければならないキーワードはこれだ！

- ・メタボリックシンドロームの概念の普及（糖尿病患者の発症予防・肥満者の減少）
- ・栄養ケア・マネージメントによる「高齢者の低栄養の改善」（施設・地域とも）
- ・食育の推進と食事バランスガイドの普及
- ・健診と保健指導（平成20年から）

今の業務が、これらと結びついてたら、それをさらに伸ばすにはどうするか、結びついていなかったら、どう工夫すれば係わるか、いつも考えていきましょう。悩める子羊は（大人の羊も）、気軽に電話してください。一緒に考えましょう。

* * * * *

栄養やまなしの編集委員として協力したいと思います

集団健康管理部会長 大 木 由 枝

今年度も山梨県栄養士会理事に就任致しました。今年度は総務部の理事として「栄養やまなし」の編集委員を担当します。

新聞の利用方法は変化しました。新しいニュースをいち早く獲得する媒体から、ニュースを確認する媒体になったと言われています。テレビやインターネットの情報伝達速度に比較した表現です。年に数回発行である会報誌は情報伝達速度だけから捉えれば新聞の部類かもしれません。しかし、会報誌は専門分野の情報を濃縮した媒体であり、なによりも身近な仲間の同行を把握できる媒体でもあります。親しみやすさと暖かさを感じるのはこの性質からだと思っています。

2年間編集委員として参加できる中で、専門職に役立つ即効性をそなえた情報と、個人情報保護法も十分考えた上で会員の顔の見える「栄養やまなし」の作成に協力できればと考えています。

* * * * *

理事に就任して

病院部会長 小 淵 正 子

今期も理事を引き受けることになりました。医療をめぐる情勢は年々厳しさを増してきています。

とりわけ2年前に診療報酬2.3%の切り下げがあり、また本年4月より3.4%と史上初的大幅な切り下げとなり医療機関の存続さえも困難な状況が生れてきています。

病院部会の会員の皆さんには新しい情報を出来るだけ早くキャッチしてお知らせすることが私の使命と認識しています。

今回、栄養管理実施加算が新設となって診療報酬点数がわずかではありますが加算されました。このことは唯一評価できる項目ではありますが、と同時に2年後には結果を出さなければなりません。診療報酬を引き上げてもらうことが出来るのか、或いはなくなってしまうのかは「この一年が勝負」であることから腹をくくって取り組むことの必要性を痛感しています。結果を出すための手段を講ずることや、まだまだ医療改悪は果てしなく続くものと思われま

すが、栄養士としてどうしたら生き残れるのかを皆様と一緒に考えていきたいと思います。

生活習慣病対策として2年後は健診後の指導をアウトソーシングする方向と聞いております。また山梨県内においては「山梨県糖尿病療養指導士制度」が平成18年度スタートして78名が登録されました。そして 特定非営利活動法人「NPO法人・山梨県糖尿病臨床研究会設立準備会」が立ち上がりその活動内容も模索中の段階ですが医師・管理栄養士・保健師その他医療専門職種などの派遣事業も視野に入れて取り組むことも考えられますので、役立つことが出来るようにさらにスキルアップをはかるための研修計画を取り入れて、よりよい栄養士会活動に寄与できるよう奮闘したいと考えております。

今後ともご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

支部長のご挨拶

会員多数の参加を願って

中北支部長 杉 村 千代子

厚生労働省により今春発表されたメタボリックシンドローム症候群は成人男性2人に1人、成人女性5人に1人が該当していると言われている今日、健康づくりに携わる一員としての栄養士の役割は益々課題が大きくなってくる物と思われます。

日本人全体はもとより、殊に、これから育っていく児童の朝食の欠食・好きな物を食べただけ食べるというような、バランスの偏った今日の食事習慣を、規則正しい環境に取り戻すための働きかけをしていくことが求められています。

平成18年度中北支部会員数は約250人という大所帯です。支部長以下16人の理事・監事を中心として、一部の会員だけの活動にとどまらないよう、会員すべてが一丸となって頑張っていくことが大事ではないでしょうか・・。

皆様のご指導とご協力をお願いいたします。

* * * * *

新役員の抱負

峡北支部長 嶋 津 よし子

18年度19年度峡北支部の支部長、本部理事を務めさせていただきます。

峡北支部は旧小笠原保健所と旧韭崎保健所合併により会員数が約100名となる支部となりました。私はといえばまだまだ未熟で諸先輩方が頑張られてきたように何とか2年間多くの会員さんと共に支部栄養士会を次の会員さんに引継ぎできるよう勤めたいと思います。何も特別なことは出来ませんが、「知りたい、学びたい」という気持ちはどなたにも同じではないかと思いますので情報交換の場として会を運営できるよう役員さん方と考えて参ります。よろしく申し上げます。

過去から脱却し「ジダイ」の光を掴み取れ

福祉部会長 齋 藤 正 治

昨年介護老人関係の法律が大幅に変わりました。すでに施設（福祉・保健）の勤務管理栄養士は苦勞して栄養ケア・マネジメントを五里霧中で実施してこられた事と思います。私も同じです。更に間が悪く、私は今迄の仕事全てワードプロセッサでやってきました。時代遅れの機器にしがみついていたがついに動かなくなりました。息子のパソコンを借用して新たなエクセルに挑戦しています。

昨年以来新規の事柄が次々と訪れて来ています。この様な時こそ頑張って仲間づくりも忘れないで栄養士に出来る事を着実に進めて結束しよう。そして仕事への信頼される不動の栄養ケア・マネジメントと食育を着実に確立させていくことをお願いして私の言葉にします。

* * * * *

役員をお受けするにあたり思うこと

富士・東部支部長 深 澤 幸 子

平成18、19年度の役員として認めていただき、本当にこの私が栄養士会に貢献できるのか自問自答している毎日です。しかし認めていただいた以上、全力を尽して活動していく所存でございます。

組織部ということなので諸先輩のご指導をお受けしながら、会員の皆様が「栄養士会はとても勉強になる良い会なのでみんなで入りましょう」と思っていたくれるような組織にできればと、大胆にも思っています。

最近インターネットの栄養士コミュニティーなど読む機会があり、栄養士になったばかりの人たちの悩みなど真の声をたくさん目にします。先に歩んでいる私たちが、これから栄養士として活躍していく人たちに希望と役に立つような企画を真剣に考え、悩みに答えてあげなければならないことを痛感しています。

また、山梨県栄養士会をどの県にも負けない会に成長させて行きたいと思いますのでこれから2年間宜しく願い致します。

管理栄養士 合格おめでとうございます

当会の会員の中からも多くの方が合格されたようです。
次の方から合格した喜びのお便りをいただきましたので紹介させていただきます。
これから管理栄養士国家試験を受験される会員の方々の参考になれば幸いです。

行政部会 (N・H)

栄養士として仕事を続けていく中で、管理栄養士の資格取得の必要性を強く感じるようになりました。いつしか私の中では必ず取らなければいけない資格であるという意識に変わり、プレッシャーとして重くのし掛かってきました。

仕事をしながらの勉強はやはり思うように進まないこともあり、焦りと不安でいっぱいの日々でしたが、絶対に合格をしたいという強い気持ちを持って、今までの人生で一番勉強しました。

それだけに合格の知らせを受けたときは本当に嬉しく、今までの努力がすべて報われたのだと感じました。

具体的な勉強方法としては、とにかく過去問題を解くことを中心にしました。始めに、イラストや図表などを多用し、各科目ごとに重要箇所の要点が解説されている参考書を用いて基礎的な知識を確認していききました。その後、何度も繰り返し問題を解いては解説文を読むといった形で勉強を進めていききました。国家試験制度が変わったことによって、一つ一つの科目の出題数が増えているので、どの科目

もムラなくやっておくことが必要だと思います。苦手な科目でも繰り返し勉強しているうちにだんだん解かるようになっていくので、最初から諦めてしまうのではなく続けることが大切だと思います。応用力試験は、基礎をしっかり身に付けておくことで対応できると思いました。

反省点としては、私は3月に入ってから体調を崩して寝込んでしまったため、全く勉強できない時があったので、これから試験に望まれる皆様には、健康管理には充分気を付けて、無理をせず頑張ってくださいたいと思います。

勉強方法や相性のいい参考書、勉強しやすい場所、一つのことに要する時間などは人それぞれ違うので、早い時期に自分に合った取り組み方法を見付け出すことが一番先決だと思います。そして、自分を信じて最後までやり通すことが大切だと思います。

今後も、資格取得に驕ることなく、住民の多様なニーズに応えることが出来るように日々研鑽を積み、頑張っていきたいと思います。

最後になりましたが、今回の試験に当り応援してくださいました皆様に心から感謝いたします。

～管理栄養士試験に合格された方は本会の
会員名簿の資格覧の変更をしますので必ず御連絡下さい。～

管理栄養士合格者について

第20回管理栄養士国家試験の結果について

1) 合格基準

配点を1問1点とし、次の基準を満たす者を合格とする。
総合点60%以上の者

2) 合格状況

受験者20,570名 合格者5,504名 合格率26.8%

(参考) 年次別受験者数、合格者数、合格率

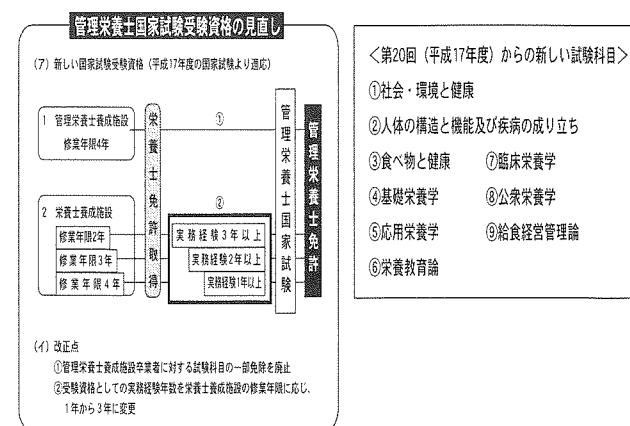
	平成16年度 (第18回)	平成17年度 (第19回)	平成18年度 (第20回)
受験者数	27,871	30,475	20,570
合格者数	4,350	7,705	5,504
合格率	15.6%	25.3%	26.8%

注) 第20回から、平成12年栄養士法改正後の受験資格及び試験科目による。

3) 学校区分別合格状況

	受験者数	合格者数	合格率
管理栄養士養成課程 (新卒)	5,833	4,217	72.3%
管理栄養士養成課程 (既卒)	513	37	7.2%
栄養士養成規定 (既卒)	14,224	1,250	8.8%

(参考)



トピックス

—学ぶじゃん—

山梨版「食事バランスガイド」事業を実施する！

● 経緯及び目的

平成17年7月に施行された「食育基本法」により「食育バランスガイド」を活用した望ましい食育推進活動が国をあげて実施されております。本会におきまして、内閣府食育推進室における食育推進計画の一環として位置付けられた「食育活動促進支援事業」として『—学ぶじゃん— 山梨版「食事バランスガイド」』事業を実施することになりました。

食育の大切さを広く県民に普及啓発し、健全な食生活の実践をめざすことを目的とします。

● 委員会の設立

○食育推進のための『山梨版「食事バランスガイド」活用促進事業』
検討委員会

組 織	氏 名	担当者
関東農政局山梨農政事務所 所 長	大山 和成	川村 正雄
山梨県企画部県民室食品安全・食育推進室 室 長	白砂 勇	川手 雄仁
山梨県福祉保健部健康増進課 課 長	内田 玄祥	早川 文子
社団法人山梨県調理師会 会 長	小又 正	
山梨県食生活改善推進員 連絡協議会会長	野口富美子	
社団法人山梨県栄養士会 会 長	石坂 恵子	
社団法人山梨県栄養士会 総務部長	田草川憲男	

○—学ぶじゃん— 山梨版「食事バランスガイド」
作成委員会

役職名	氏 名	役職名	氏 名
会 長	石坂 恵子	学校健康教育	秋山 知子
副 会 長	岡本 裕子	行 政	上杉まゆみ
副 会 長	矢崎 圭子	研 究 教 育	依田 萬代
総 務 部 長	田草川憲男	福 祉	堀口 一美
事業部長・病院部会長	小渕 正子	地 域 活 動	福永千賀代
		地 域 活 動	立川 聖子

—学ぶじゃん—

山梨版「食事バランスガイド」事業実施要綱

1 目 的

食育基本法の施行にともない、「食事バランスガイド」を活用した望ましい食育推進事業が国をあげて実施されている。食に関する知識と「食」を選択することを習得し、健全な食生活実践することができる人間を育てる「食育」を推進することを目的として、本会において、県下の特産物の掘り起こしをし、山梨版「食事バランスガイド」を作成し、地域・家庭・学校に、食育の推進や食事バランスガイドの普及・活用の促進をおこない、併せて食文化の継承に努める。

2 主 催

社団法人 山梨県栄養士会

3 後 援

関東農政局山梨農政事務所・山梨県・山梨県教育委員会・健やか山梨21推進会議 山梨日日新聞社・NHK甲府放送局・山梨放送・テレビ山梨

4 期 間

平成18年7月5日(水)～平成19年2月28日(木)

5 実施内容

- 1) 県内の特産物を利用した郷土食の掘り起こしとレシピ集作成
- 2) 郷土食を入れた山梨版「食事バランスガイド」の作成
- 3) 食生活改善推進員リーダーを対象とした郷土食料理講習会（山梨版「食事バランスガイド」を活用した食生活のチェック）
- 4) 高齢者と子供のふれあい郷土食料理教室（山梨版「食事バランスガイド」を活用した食生活のチェック）
- 5) 食育に関する図面・ポスター及び標語作品の募集
- 6) 食事バランスガイド推進大会
～甲斐の国・食育シンポジウム～
日時：平成18年12月17日(日)
会場：山梨市民会館
- 7) ホームページによる郷土食の情報提供

社団法人日本栄養士会第48回通常総会

第48回通常総会と日本栄養士連盟第31回通常総会が去る、6月18日（日）東京世田谷昭和女子大学グリーンホールに於いて、6月19日（月）に東京目黒区の国民年金中央会館こまばエミナース1階ダイヤモンドルームに於いて開催された。山梨県からは代議員として、石坂恵子会長、岡本裕子副会長、矢崎圭子副会長が出席した。総会の会議運営委員には3名の内の1人に山梨県の石坂会長が指名されました。

特別講演「食育基本法の狙いと食育推進基本計画の概要について」

内閣府政策統括官付参事官（食育推進担当）持永秀毅氏講演について総会に入る。最初式典が行われ、会長挨拶、来賓のうち（社）日本看護協会会長 久常節子会長が出席した。その後議案の審議に入る。今年度は役員改選の年に当たり、投票は代議員のみということで前日の18日（日）投票され、当選の公表あり会長中村丁次・副会長本田佳子・副会長清水瑠美子に決定した。

平成17年度事業報告および収入支出計算書ならびに財産目録承認の件・平成18年度事業計画案および収入支出予算案承認の件について出席者多数の賛成で承認された。

通常総会のすべての審議を終了し2日間の総会を閉会した。

（文責 矢崎圭子）

全国栄養士大会開催される

去る6月18日（日）、昭和女子大学グリーンホールに600名の管理栄養士、栄養士が集い、全国栄養士大会が盛大に開催された。当日は小雨が降り続く悪天候にも関わらず、意気揚々とした会員の姿があちこちにみえた。

大会開会の挨拶に始まり、中村会長の熱のこもった決意を新たにした挨拶があった。演壇に並んだ著名な方々がスーツではなく、揃って黄色いTシャツを着用していたことから団結しているという力強さを感じ得た。

続いて、厚生労働省健康局総務課生活習慣病対策室長・矢島鉄也氏の特別講演「新たな健診・保健指導のあり方」があり、国からも明確に栄養管理の必要性が打ち出されたことは、同時に、専門職としての資質の向上をより意識していくべきであろう。休憩はさんで「栄養ケア・ステーションの運営について」と題しシンポジウムが開かれ、1時間程ののち、閉幕した。

（文責 秋山めぐみ）

■「全国食生活改善大会」の開催

「私達の健康は私達の手で」の合言葉

○経緯

山梨県食生活改善推進員連絡協議会が平成17年度に「保健文化賞」を受賞した。

全国食生活改善大会は、受賞した所在県において、受賞翌年度に開催される。

○日時 平成18年10月27日（金）

○会場 県民文化ホール

○特別講演

「旬の味・京の味」 講師 市田 ひろみ

平成18年度生涯学習研修会はじまる

平成18年度 生涯学習を受講して

平成18年度生涯学習が開催され、第1回目の今回は6月10日に開催されました。

内容テーマは

- 1、生涯学習ガイダンス
- 2、栄養アセスメントに基づいた栄養ケア・プランの作成と実際【Ⅱ】
- 3、行動変容につながる糖尿病の栄養指導
- 4、骨の生理学 ―骨の代謝と丈夫な骨づくり―

以上4テーマでした。

私が生涯学習を受けている目的は、管理栄養士でありつづけたい願望から自分が納得できるように、知識を少しでも多く身につけて、今よりましな自分となることです。そういう意味で今回のテーマはどれも納得いくものばかりでした。

「栄養アセスメント」は理論と実際に理解しやすいものでした。講師が強調していたことは 1、栄養管理実施加算は先ず始めること 2、継続すること 3、保険請求すること 4、他職種にまかせたままにしないように、栄養士が主役であることを忘れないように（今回の栄養管理実施加算の診療報酬については特に看護職から「栄養士に報酬をつけた」ことに異論が出されたといわれている）4項目でした。診療報酬加算の重みを受け止めていい結果を出したものだと思いました。

「糖尿病の栄養指導」では「相手が行動変容しない場合は自分の力不足と思え」従来型の「すべてを守らせる方法は×」「QOLを大切に、当事者と交渉して決める」印象的で大きな教訓となりました。

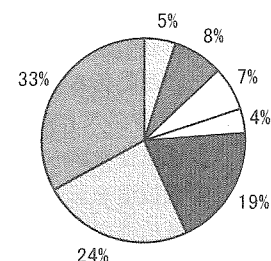
「骨の生理学」では「運動の大切さ」が印象的でした。（途中コクってしまいました）と言う具合で気楽に受けています。

みなさんも是非受けてみませんか？

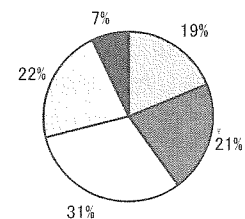
（文責 小渕正子）

平成17年度 生涯学習研修会アンケート結果

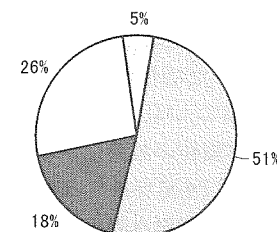
参加者の内訳（職域別）



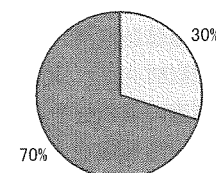
参加者年齢内訳



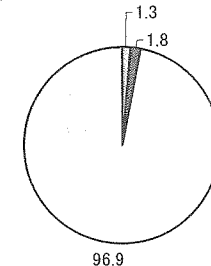
受講目的



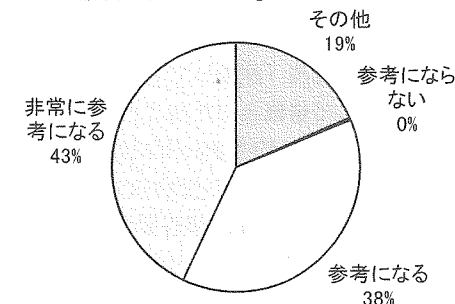
参加者の資格



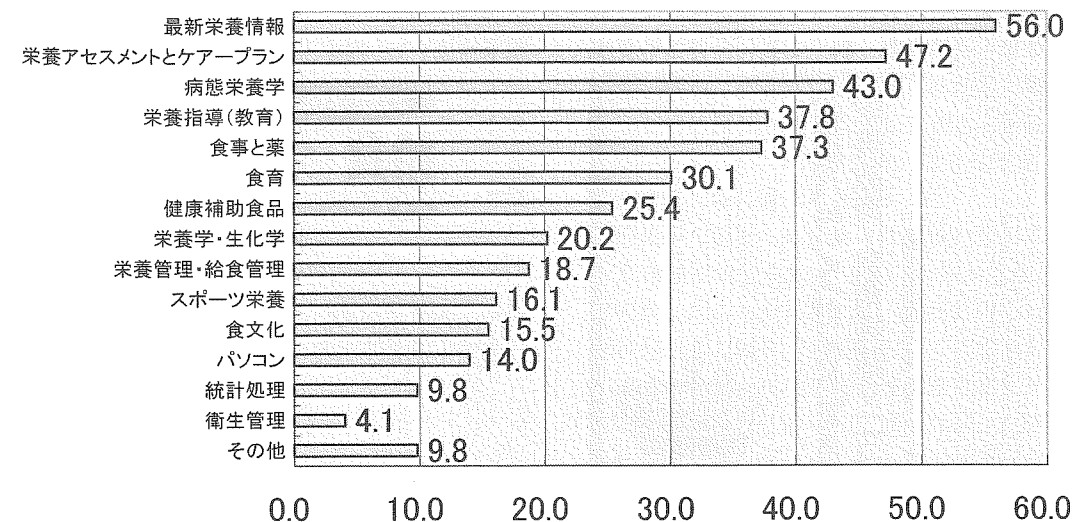
講義内容について



講義内容について②



受講したい内容



（集計：依田萬代）

■独立行政法人化5周年（創立85周年）事業 独立行政法人国立健康・栄養研究所 研究報告会開催される

平成18年3月4日（土）13時から16時中野サンプラザにおいて、サブタイトル「～独立行政法人化から5年間の歩み・成果～」として開催された。

理事長渡辺昌氏の開会挨拶とともに、基調講演に続き4研究部が最新の研究を報告した。各報告では研究実績に続き、これから5年間に行う研究課題も提示された。プログラムはつぎの通りである。

基調講演 「栄養学は日本で興きた一佐伯矩博士と国立健康・栄養研究所」
理事長 渡辺 昌

研究報告 「レジスタンストレーニングと健康増進」
健康増進部 宮地元彦
「運動しても体脂肪が減らないマウス」
生活習慣病研究部 三浦進司
「栄養食事調査の信頼性を目指して—栄養・食生活を介した生活習慣病を科学する—」
健康・栄養調査部 由田克士
「『健康食品』の安全性・有効性情報ネットの構築」

食品表示分析・企画研究部 梅垣伸彰
全ての講演が聴講者に十分な満足を与えるものであったが、特に生活習慣病研究部「運動しても体脂肪が減らないマウス」を聴講者として情報としたい。

運動すると活性化するAMPキナーゼに注目し、AMPキナーゼ活性を抑制したAMPK-DNマウスを作成し継続的な運動の肥満・糖尿病予防効果（慢性効果）へのAMPキ

ナーゼの役割を検討した研究である。

AMPK-DNマウスと野生型コントロールマウスについて、高脂肪食摂取下で「運動をさせる群」と「安静群」に分け比較研究した。安静群ではいずれのマウスでも同様の体脂肪増加がみられた。運動をさせた群では野生型は体脂肪が減少しAMPK-DNマウスでは体脂肪が減少しなかった。つぎにインスリン抵抗性を調べた。安静群ではいずれのマウスもインスリン抵抗性を示した。運動をさせた群では野生型のインスリン抵抗性の著明な改善が認められた。驚くべきことに、運動させた群では、体脂肪の減少しなかったAMPK-DNマウスも野生型も両方とも、筋肉のGLUT4発現量とミトコンドリアマーカール量の増加が認められ、繰り返運動することにより筋肉事態の性質変化がいずれのマウスでも起きていることを示す。

結論として、「運動によって体脂肪が減少するには骨格筋のAMPキナーゼ活性が必要であるが、運動の糖質代謝効果には骨格筋のAMPキナーゼ活性が必ずしも必要ではなく、運動は体脂肪の減少にかかわらず糖質代謝を改善する。それはGLUT4発現量などの筋肉の変化である。」との報告である。運動が引き起こす生理反応の分子メカニズムが解明されれば、種種の理由で運動が不可能な人、運動による生活習慣病予防効果がない人にオーダーメイド医療ができる。更に、より効果のある糖尿病治療薬が開発できるかもしれないと結んだ。

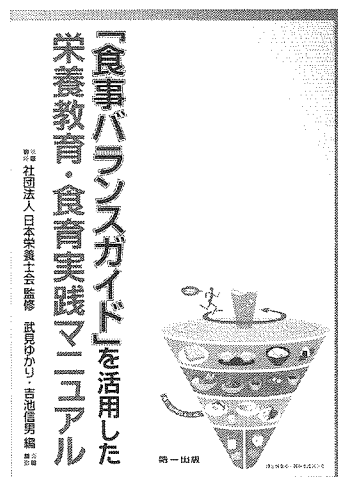
前日には戸山研究庁舎で第2回アジアネットシンポジウムが開催された。その余韻を残し、外国の研究者も列席していた。会場では英語の会話が耳に届き国際色も豊だった。

（文責 大木由枝）

■新刊書籍案内

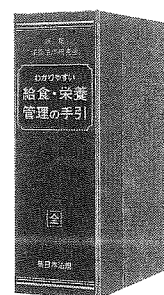
「食事バランスガイド」を活用した栄養教育・食育実践マニュアル

（社）日本栄養士会 監修
武見ゆかり・吉池信男 編
第一出版



わかりやすい 給食・栄養管理の手引

編集 栄養法規研究会 代表 石田裕美（女子栄養大学教授）



私達ががんばっています！

会員の皆様から「私達ががんばっています」というテーマで

- ①自己紹介・職場紹介
- ②主な仕事内容
- ③仕事で「うれしかったこと」「つらかったこと」など
- ④現在取りくんでいること
- ⑤栄養士会に思うこと 等を今回は病院部会・福祉部会会員より書いていただきました。

浅川明日香（巨摩共立病院）

（病院部会）

① 自己紹介

はじめまして。南アルプス市にある巨摩共立病院に勤務している浅川明日香です。病院勤務2年目を向かえ勉強の日々を送っています。

② 主な仕事内容

当病院は1日約400食を提供しています。月1度、療病棟の患者さん、デイケア、デイサービスの利用者の方々にバイキング給食を実施したり、療病棟を退院される方に退院食の提供、病院で誕生日を迎えられた患者さんには誕生日食を提供しています。調理師の方と力を合わせて食事を少しでも楽しんでいただきたいという思いで一生懸命取り組んでいます。また、外来・入院患者さんに栄養指導を行ったり、4月からは栄養管理計画を立てそれに基づき、各個人にあった食事を提供できるように他職種と連携を図りながら取り組んでいます。

③ うれしかったこと

病院に勤務して2年目を向かえ病院栄養士になってよかったと感じることが多くあります。患者さんの笑顔はもちろん、先輩方の技術の高さに関心すると同時に、奥の深さ、面白さ、重要さ毎日が新たな発見ばかりです。印象的だったのは、褥瘡で入院してきた100歳になる方に会ったことです。治療は食事管理が主でした。「100歳か～治るのだろうか～」と最初は半信半疑でした。しかし、3食全量摂取で、2ヶ月もしたら見事にきれいに治って退院されました。疑った自分を反省しつつ、一番の治療薬って食べる事なんだと食べることの重要性を初めて肌で感じました。治療の基本となる食事を少しでも楽しんでもらいたい、力になりたいと強く思うようになりました。

④ 今後の抱負

今後は、新たな資格取得に向けいろいろな勉強会に参加しスキルアップしていきたいと思います。みなさん今後ともご指導宜しくお願いします。

佐藤ふさ子（特別養護老人ホームいちいの木）

福祉部会（老人）

① 自己紹介

特別養護老人ホームいちいの木に勤務している佐藤ふさ子です。

現在の職場に勤務する前は、都留市で行政栄養士をしていました。平成14年に管理栄養士とケア・マネージャーの資格を取得し、これを機に15年に開設されたこの施設に飛び込んできました。通勤距離は往復50キロ、冬は予想以上の積雪と厳しい条件の中4年目を迎えた今は、毎日変化する富士山のすばらしさに感動しながら通勤しています。

② 主な仕事内容

献立作成 栄養ケア・マネージメント 給食会議開催 担当者会議 感染対策委員会の出席 厨房との打ち合わせ等

③ うれしかったこと つらかったこと

行事食を食べていた普段無口なお年寄りが昔のことを思い出して雄弁になったり、バイキングの時のお年寄りの喜ぶ顔をみて介護士もうれしくなりががんばる姿を見たとき。つらかったことは最初、介護 看護 厨房との連携がとれず精神的に追い詰められたことです。

④ 現在取り組んでいること

栄養ケア・マネージメントに悪戦苦闘している毎日です。献立や個人の情報を管理できるソフトがほしい！地域の4施設の栄養士が集まり各会社のデモを評価し自分たちに向いているものを選択しました。施設長に購入を納得してもらうため施設長会議を開催して頂き4施設とも契約することになりました。8月には導入できる予定です。

⑤ 栄養士会に思うこと

行政から福祉への転換で仕事の内容で不明の部分があり一人職種で誰に尋ねたら良いか分からず栄養士会にTELで相談したことがあります。電話にでられた石坂会長が疑問が分かる人にすぐ連絡を取ってください、教えて頂く事ができました。また栄養管理業務マニュアルが新設開所年度に発刊になり私の手元に届かなかった時も栄養士会に相談し送っていただいたこともあります。会員の支えとなってくださった栄養士会の会長様はじめ役員の皆様のお力添えに本当に感謝しています。

風間 智恵（笛吹市役所児童課）

福祉部会（児童）

① 自己紹介・職場紹介

笛吹市役所 児童課 保育所担当の風間智恵です。

「心に残る給食づくりがしたい」と栄養士を志した高2の春。晴れて栄養士となり保育園で勤務し、一度家庭に入りましたが、現在は、笛吹市役所で市内13保育所栄養士（兼務）として「統一献立の作成・保育所・調理員・保護者への情報提供・指導」等の給食管理をしています。

② 主な仕事内容

H16年10月に6市町村が合併し、統一献立を実施したのですがそれぞれの地域性・入所人数・調理機器・今までの給食スタイルの違い等が多くあり“統一”を図ることは困難を極めました。給食検討会等で職員の意見を交わし合い、意思疎通を図ることでようやく笛吹市立保育所給食の基礎が出来てきた状況です。まだ、基礎の段階ですから課題は山積みです。

④ 現在取り組んでいる事

まずは、現在毎月実施している『みんなでCooking』を定着させ、参加型の給食を多く取り入れ食に興味・関心を持ってもらうこと。保育所から子供たちへ。子供たちから保護者へ食育を展開していきたいと思っています。

『食』の基礎づくりとなる乳幼児期の食事の大切さを常に考慮し、職員一同連携をとりながら「心に残る給食づくり」をしていきたいと思います。

⑤ 栄養士会に思う事

山梨県栄養士会におかれましては、研修会・会報誌による情報提供等、資質の向上の機会を設けて頂き深く感謝申し上げます。また、部会に席を置き、会員の皆様との交流によって同じ悩み・体験など語り合う機会が増えたことに、会の存在の大きさを改めて感じています。今後とも宜しくお願いいたします。

お知らせ下さい

管理栄養士・栄養士以外の資格・免許を取得されている会員は氏名・職域・取得資格名・取得年月日をお知らせ下さい。

- | | |
|---------------|------------|
| 1 ケアマネージャー | 2 健康運動指導士 |
| 3 健康運動実践指導者 | 4 糖尿病療養指導士 |
| 5 産業栄養指導者 | 6 生活習慣病指導士 |
| 7 学位（修士・博士など） | 8 臨床栄養師 等 |

電話・FAX 055-222-8593

不明の点は事務局へお問い合わせ下さい。

斉藤 宏子（知的障害者更正施設「敷島緑陽園」）

福祉部会（障害）

① 自己紹介・職場紹介

こんにちは、福祉部会（障害）の斉藤宏子です。

知的障害者更正施設「敷島緑陽園」の栄養士として8年目に入りました。

24歳の長女を筆頭に1女2男の母親も兼務(?)しております。

現在の仕事に就くまでは、実家の飲食店の手伝いを時々していた（ほとんど専業主婦でした）ので、40歳過ぎてから社会人になったという次第です。

年齢のキャリアはあるのに、栄養士としての本来的な仕事になかなか追いつけないというギャップに苦闘してきましたが、職場の皆さんや家族に支えられ、なんとかここまで続けてくることができました。

ここ敷島緑陽園も、他施設と同様、支援費制度の導入や障害者自立支援法など、ここ数年の制度改革の荒波にもまれています。将来に明るい展望が見えにくい時代ではありますが、こういう時だからこそ、利用者の皆様の笑顔を描き、自分なりに福祉の本質について見つめ続けながら、行動していきたいと考えております。

② 主な仕事内容

施設利用者の皆様の嗜好調査、栄養指導などに配慮しながら、栄養関係業務全般を行っています。

③ 仕事で「良かった事」、「大変だった事」

職員全体（医務、栄養、支援）が連携して、健康管理上必要な日常の運動、軽作業などに心がけた結果、課題のあった利用者の皆様の検診結果数値が大幅に改善できたことが良かった事ですが、この成果をだすために職場内での目標づくりや連携体制をつくりあげることが意外と大変でした。

④ 現在取り組んでいる事

給食をとりまく環境も厳しくなっている中、施設内で毎日3食を召し上がる利用者の皆様にとって大切な『安全でバランスのとれた、おいしい給食』という基本を守るために、食材の選定、勤務シフトや厨房内作業の効率化、個別対応など、あらゆる角度からの見直しに心がけています。

⑤ 栄養士会に思う事

栄養士はそれぞれの職場での配置人員が少なく（一人の職場も多く）、栄養士会の研修会や行事に参加しにくい状況もありますが、可能な限り職場（上司）の理解を得ながら参加し、仕事の相談や情報交換ができる先輩や仲間づくりをすることによって、自分の仕事にも反映できるものが得られると思います。

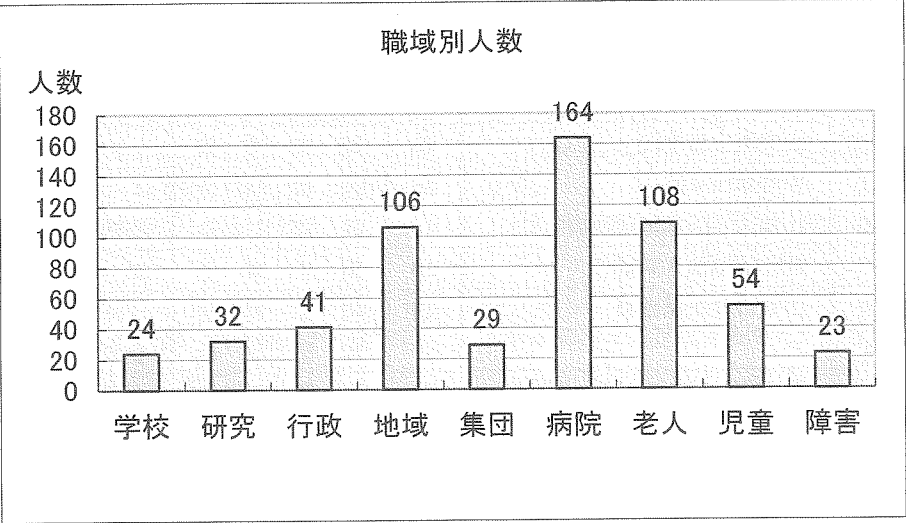
今回は学校健康教育部会・行政部会会員よりお願いいたします。

平成18年度新入会員名簿

No.	氏 名	勤 務 先	No.	氏 名	勤 務 先
1	保 坂 春 美	韭崎西中学校	43	前 田 浩一郎	
2	手 塚 千 歩	山梨県立青い鳥老人ホーム	44	井 手 美 幸	
3	新 津 巳 奈	山梨県立盲学校	45	岡 本 博 花	
4	荻 原 範 江	甲府城西病院	46	大 賀 小百合	
5	鷹 野 美 鈴	山梨大学医学部附属病院	47	武 井 さおり	特別養護老人ホーム風林荘
6	須 田 みどり	社会福祉法人向徳舎	48	田 中 裕 子	エームサービス関東株式会社
7	上 野 治 美	山梨市役所保健課	49	岡 部 美 澄	一宮保育園
8	有 野 夕 紀		50	岡 田 沙 織	豊樹福祉会十日市場保育園
9	寺 井 佳 子	春日居リハビリテーション病院	51	塩 澤 亜里沙	大里保育園
10	山 村 淳 子	地域活動部会	52	芦田川 久 子	中部食品株式会社
11	浅 川 みゆき	北杜市立泉小学校	53	佐 藤 麻 美	塩山南小学校
12	萩 原 千 晶	スカイコート勝沼	54	一 瀬 由 佳	介護老人福祉施設りんどうの里
13	藤 森 裕 子	山梨市学校教育課	55	時 田 明 美	高原病院
14	高 野 由 佳	厚生連健康管理センター	56	小 池 君 枝	介護老人保健施設NAC湯村
15	斉 藤 将	山角病院	57	米 山 和 子	学校法人日本航空学園
16	藤 江 美智子	三生会病院	58	清 水 千 恵	特別養護老人ホームみのる荘
17	中 田 久仁子	地域活動部会	59	渡 辺 紀 子	介護老人保健施設山梨ライフケアホーム
18	町 田 真 実	山梨市立牧丘病院	60	新 田 真利子	医療法人桃花会一宮温泉病院
19	浅 川 幸 美	地域活動部会	61	篠 原 寛 枝	熊本県果実農業協同組合連合会
20	佐 野 優 美	地域活動部会	62	矢 島 千 穂	熊本県果実農業協同組合連合会
21	渡 辺 美 香	大月市立中央病院	63	手 塚 久美子	宮前福祉会宮前保育園
22	山 口 栄	大月市立中央病院	64	新 藤 祥 子	財団法人富士温泉病院
23	酒 井 佑 子	県立北病院	65	義 城 のぞみ	日清医療（株）宝山寮
24	飯 島 令 子	日清医療食品（株）山梨厚生病院	66	二 宮 慎 子	社会福祉法人かほる保育園
25	一 瀬 トモ子	聖ヨゼフ寮	67	雨 宮 理 恵	日川保育園
26	中 澤 真由美	（医）銀門会甲州ケアホーム	68	小 澤 佑 季	
27	三 浦 恵	都留児童相談所	69	望 月 美 希	玉幡保育園
28	藤 原 みなこ	株式会社桔梗屋	70	山 本 純 子	日清医療（株）ナーシングプラザ三珠
29	深 澤 真 理	こでまり保育園	71	鈴 木 順 子	日清医療食品株式会社
30	小宮山 純 子		72	市 村 優 子	相興保育園
31	山 下 涼 子	よっちゃん食品工業株式会社	73	小笠原 奈 央	国母保育園
32	岩 下 祐 子	万才保育園	74	能 登 菜 月	株式会社さえき
33	志 村 祐 衣	二川保育園	75	望 月 愛	ヒューマンサービス山梨（デイサービス）
34	前 田 美登里	ケアガーデン風間	76	新 藤 智 恵	城東病院
35	流 石 千 穂	特別養護老人ホーム慶和荘	77	秦 知 子	一宮温泉病院
36	本 田 和 子	武川会武川病院	78	野呂瀬 知 可	花の丘たちかわクリニック
37	高 橋 智 子	山梨県立大学	79	大 橋 恵 子	
38	三 科 尚 美	富士温泉病院	80	佐 野 知 里	富士給食富士メディカル株式会社
39	小 方 麻 樹	（株）ニッコトラスト牧野フライス製作所	81	菊 島 紗恵子	いちやまマート
40	志 村 まどか		82	砂 田 千 帆	日清医療食品株式会社
41	細 川 和 子		83	萩 原 祐 子	勝沼ナーシング
42	遠 藤 静		84	今 津 佳 代	サンワフーズ株式会社

平成18年度職域別会員内訳

(H18年8月1日現在 581名)



平成18年度 職域別退会者の内訳

(職域別内訳)

職域	人数
学校健康	3
行政	2
研究教育	5
集団	3
地域	7
病院	21
福祉	19
合計	60

(退会理由)

・県外へ転居	5人
・退職のため	1人
・栄養業務をしていない	6人
・研修会に参加できない	7人
・一身上の都合により	16人
・不明	21人
・その他	4人
合計	60人

報告

理事会報告

● 臨時理事会

- 日時 平成18年4月15日(土) 13:30~17:00
会場 びゅあ総合
- 議題 ① 役員改選について
平成18・19年度役員候補について
会長・副会長(代議員)の選出について
監事選出について
平成18・19年度理事業務執行組織編成について
- ② 平成17年度事業報告及び収支決算書について
- ③ 平成18年度事業計画及び収支予算(案)について
- ④ 定款の一部変更について
- ⑤ 総会開催について
- ⑥ その他

● 平成18年度第1回理事会

- 日時 平成18年6月10日(土) 16:30~
会場 山梨学院短期大学
- 議題 ① 経過報告
・会議・研修・講習会等
- ② 議事
・平成18年度事業について
・県委託事業
○ 栄養なんでも相談事業
・県補助金事業
○ 在宅栄養士活用システム事業
・日本栄養士会委託事業
○ 植物油講演会
○ 指導者のための栄養セミナー
・平成18年度(第17回)栄養士研究発表会
・いきいき山梨ねんりんピック2006
・全国日本栄養士大会・総会
・農林水産省公募に応募事業
平成18年度「民間における食育活動促進支援事業」
・その他

☆ 賛助会員名簿 ☆

(順不同)

平成18年8月1日現在

社名	電話	担当	業務内容
エコア株式会社	055-241-1755	相川 秀樹	防鼠害虫駆除
和泉産業株式会社	055-222-1153	高石 俊二	食器、厨房機器
㊤ 上田屋	055-266-2331	上田 昭雄	ソフグリーン、もずく
大塚製薬甲府出張所	055-276-8581	繁實 洋史	ポカリスエット、ネイチャーメイト
オギノ食糧(株)	055-222-5181	深沢 千恵子	給食材料
㊤ オズプリンティング	055-235-6010	丸山 健	印刷
(株)三和化学研究所甲信支店	0263-36-1771	加藤 文雄	サンエットA・サンエットL・サンゲンラクト
キューピー(株)東京支店	03-3486-4033	高橋 幸江	ジャネフ、ヘルスフード
甲信食糧(株)	055-273-4561	茅野 治行	食品材料卸
シキシマ醤油(株)	055-273-6844	小林 秀男	醤油、減塩調味料、ジャネフ製品
信濃化学工業(株)	0262-43-1115	山田 芳嗣	食器、トレイ
(株)テンヨ武田	055-266-5251	広瀬 潔	醤油、給食材料
(株)日新厨房企画	055-273-3881	杉本 哲史	厨房企画設計管理
(株)はくばく	0556-22-8989	渡辺 渉	麦の総合食品メーカー、骨太家族
宮坂醸造(株)	055-241-8181	池田 和生	味噌
湊興(株)	055-226-3742	小野 謙一	鮮魚、煮貝
(株)マルハチ村松	054-622-7371	千田 幸一	鰹の素、だしの素
山梨ヤクルト販売(株)	055-237-8960	保坂 憲夫	健康科学ヤクルト
北沢産業株式会社甲府支店	055-226-2800	手塚 清	厨房設計管理
第一出版株式会社	03-3291-4576	加藤 友昭	栄養・調理関係書籍
三信化工株式会社	03-5405-7688	宇梶 純平	メラミン、ポリプロ食器
三島食品(株)東京支店	03-3317-1212	鈴木 健	ふりかけ、レトルト食品
(株)H+Bライフサイエンス東京支店	03-5285-0562	二宮 通弘	特殊栄養食品、低エネルギー食品『マービー』
(株)マインド	03-3498-3024	松井 忠	カルライス、粥のもと、白がゆ
鍋林(株)甲府営業所	055-223-0440	市川 孝也	保温食器、液状栄養食品
テルモ株式会社	080-1005-7558	高橋 史明	医療用食品の製造、販売
東洋羽毛工業(株)西東京営業所	0426-75-8811	晝間 和彦	羽毛フトン
東京サラヤ(株)八王子営業所	0426-60-0521	伊藤 毅	食品衛生材料、栄養食品製造販売
日清医療食品(株)中部支店	026-269-6700	崔田 学	給食委託業務、給食材料、濃厚流動食シリーズ
(株)ジャパンメディカル	055-222-1121	篠原 幸生	臨床検査委託、医療、資材販売
(株)岩崎	03-3732-3177	黒川 信夫	食生活、栄養関係、フードモデル販売
味の素ファルマ株式会社	055-221-8581	元塚 祐二	輸液、医療用医薬品・食品の研究開発、販売
(株)クリニコ	042-590-1506	矢崎 浩子	病態栄養食品の普及、販促活動
東洋システムサイエンス	045-451-3191	里山 寿実枝	業務用パッケージソフトの開発、販売
株式会社オオキ	055-273-6644	芦澤 秀雄	食品、環境の衛生管理、ソフト、ハード全般
株式会社ユウシステム	055-223-3085	山口 竹夫	福祉関係ソフト開発、コンピューター機器販売
明治乳業株式会社	055-273-7071	興石 有希子	栄養食品、乳製品製造、販売
ノバルティスニュートリション株式会社	03-3844-6951	岡田 元彦	栄養食品(アイソカルシリーズ)販売
株式会社フタバ	0256-33-2451	古川 齊	けずり節・だし粉末・液体調味料・その他食材製造・販売
花王販売株式会社東京支店食品部	03-3297-6348	早川 香織	花王製品の販売
カルピス株式会社東京支店	03-5722-5211	佐藤 康彦	飲料料品の販売
長谷川化学工業株式会社	047-482-1001	泰戸 真一郎	まな板、ほうちょうなど製造販売
大陽食品株式会社	055-224-5415	新津 齋	業務用総合食材、老人医療用食材卸

☆ 賛 助 会 員 ☆

(順不同)
平成18年8月1日現在

社 名	電 話	担 当	業 務 内 容
東京電力株式会社山梨支店	055-270-2601	小 池 保 治	電気事業
エ コ ラ ボ 株 式 会 社	03-5285-2653	松 野 泰 明	業務用洗浄剤・殺菌剤の製造・販売
株式会社 せ ん だ い	055-262-1170	伊 藤 孝	納豆の製造販売
グリコ乳業株式会社関東支店	042-522-8588	品 川 明 治	牛乳・乳製品等の製造・販売
株式会社 丸 泉 漆 器 店	03-3704-4831	大久保 和 子	病院・施設用食器の製造・販売
新日本法規出版株式会社	03-3269-2169	川 口 隆	法規関係図書出版・販売



事務局からのご案内



平成19年度会費の納入 金額12,500円 (新入会員は13,500円)

会費	日本栄養士会費	5,300円
	山梨県栄養士会費	6,500円
	日本栄養士連盟会費	700円
	新入会費	1,000円

(平成19年3月31日までに
納入下さい)

編 集 後 記

暑中お見舞い申し上げます。

編集委員も新しいメンバーに変わりました。

慣れませんが、皆様に必要な役に立つ情報が提供できますように、頑張りたいと思います。

皆様からの情報提供も大歓迎です。

(編集委員 H・K)

～会費は自動引落しを 利用すると便利です～

(銀行引落とし手数料105円) (郵便局引落とし手数料25円)

銀行振込みの場合 山梨中央銀行甲府駅前支店
(普) 287296(社)山梨県栄養士会

郵便局振込みの場合 振込口座 10890-11752671
(社)山梨県栄養士会

・会員登録事項の変更は忘れずに確実に
勤務先・住所・姓・資格など変更があった方は
事務局へご連絡下さい。

事務局の盆休みについて

平成18年8月14日(月)～8月16日(水)まで休みます。

編 集 委 員

編集委員長 矢崎 圭子

総 括 石坂 恵子

委 員 杓川 洋子・秋山めぐみ・大木 由枝

事 務 局 遊佐 渚

栄養やまなしNo.82 平成18年8月10日

発 行 所 社団法人山梨県栄養士会

〒400-0031 甲府市丸の内1-10-5

T E L 055-222-8593 (FAXも可)

メー ル yamaei@eps4.comlink.ne.jp

http://www.eps4.comlink.ne.jp/~yamaei/

印 刷 所 (有)オズプリンティング

〒400-0032 甲府市中央3丁目8-10 TEL055-235-6010代